

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -10

4-  
-10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	学習教材の開発
節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		
事業(施策)名	10 学習教材開発	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県文化行政課、佐渡市学校教育課
事業概要	<p>【事業目的】 県内小・中学校等に対し、佐渡金銀山についての正しい知識の普及を図り、地域の誇りと郷土愛の醸成を図る。</p> <p>【事業内容】 県内小・中学校等の学齢に合わせた副読本等を開発(現行の副読本の更新・見直し)し、その活用を図る。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 推薦書(原案)や世界遺産登録の状況について、逐次確認作業を実施し、対象学年(小学4年生及び中学1年生)に配付、活用を促す。併せて小中学校の社会部会の先生と副読本の見直しを検討する。</p> <p>【29年度実績】 対象学年(小学4年生及び中学1年生)に配付、活用を促した。併せて小中学校の社会部会の先生と副読本の見直しを始めた。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 学校により副読本の活用に差が見受けられるため、対策を考える必要がある。</p> <p>【今後の取組】 授業等での活用を、校長会等を通じて各学校に依頼する。 授業での活用を促すよう市内の小中学校の先生に副読本を配付し、理解を求める。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a (b) · c }</p> <p>【事業実施の効果】 { a (b) · c }</p> <p>【総合評価】 { A (B) · C }</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。